

# TOURNAMENT RULE

大会ルール



## ■参加資格

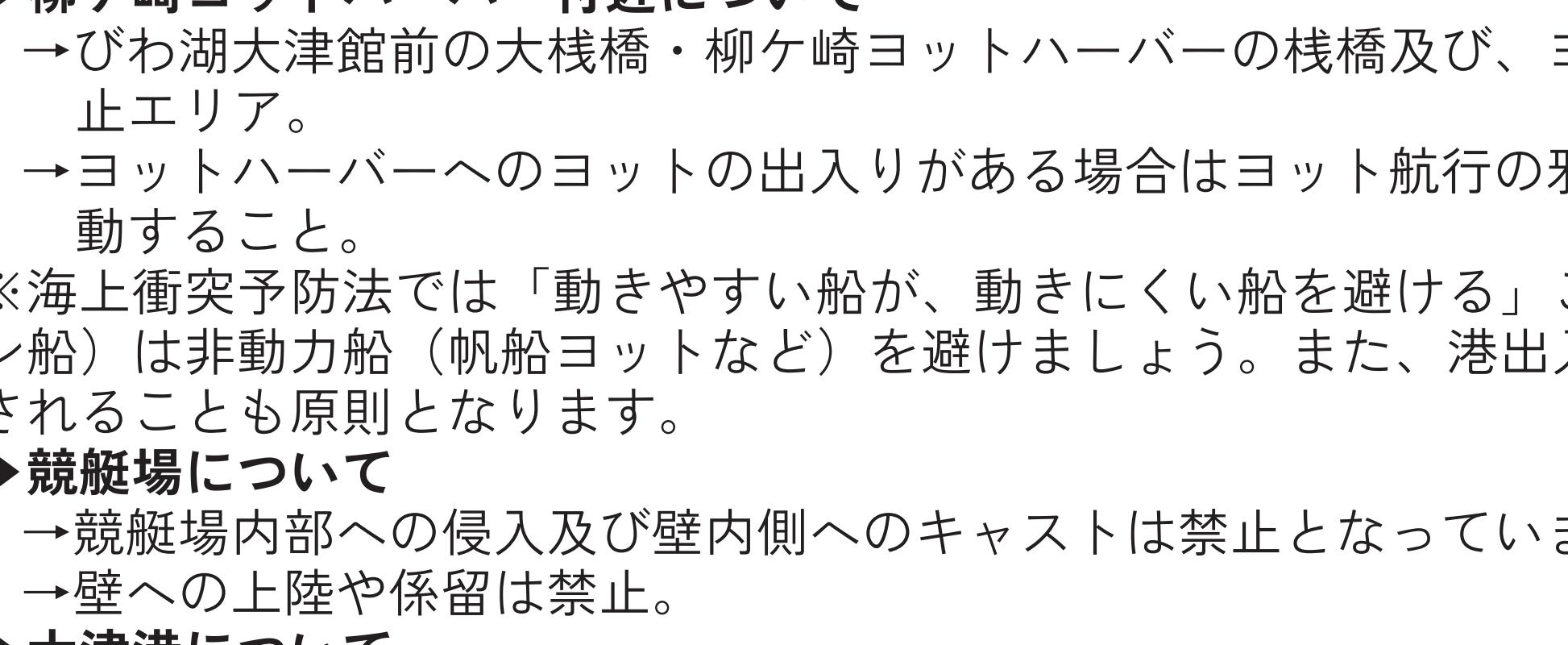
- ボーターの方は2級小型船舶免許を保有し、船舶保険に加入していること（対人・対物賠償保険）  
※撮影等でカメラマンを乗せる場合は本部に事前連絡要
- MUTA エンジンベルトを巻いて出場する事。（M.B.F.T.シリーズ参戦選手のみ。M.B.F.T.選手は琵琶湖でボート航行をする際には必ずMUTA エンジンベルトを取り付けること。）

## ■注意事項

- 試合前日のプラは「17時」までとする。（※M.B.F.T.参戦選手のみ）

## ■エリアに関して

- 沖ノ島の航行規制エリアに関して『5月1日から11月30日まで』の期間外はエリア内とする。  
(※航行規制の期間内は禁止エリアとし、境界線は下記の禁止エリア内の『沖ノ島エリアについて』を参照すること。)
- 選手はエリアに関して曖昧な部分は、試合開始までに本部に確認、そして連絡しておく事。
- 自衛隊～柳ヶ崎エリア  
以前より自衛隊をしていた『自衛隊～柳ヶ崎エリアをルール内エリア』とする。  
詳細はMAPを参照すること。赤の斜線部に関しては変わらず禁止とする。



以下変更後の注意点となります。

### ▶柳ヶ崎ヨットハーバー付近について

- びわ湖大津館前の大桟橋・柳ヶ崎ヨットハーバーの桟橋及び、ヨット、係留ブイ（アンカー含む）は禁止エリア。  
→ヨットハーバーへのヨットの出入りがある場合はヨット航行の邪魔にならないよう速やかにボートを移動すること。
- 海上衝突予防法では「動きやすい船が、動きにくい船を避ける」ことが原則となります。動力船（エンジン船）は非動力船（帆船ヨットなど）を避けましょう。また、港出入口等では航路を航行中の船舶が優先されることも原則となります。

### ▶競艇場について

- 競艇場内部への侵入及び壁内側へのキャストは禁止となっています。（壁外は釣り可）  
→壁への上陸や係留は禁止。

### ▶大津港について

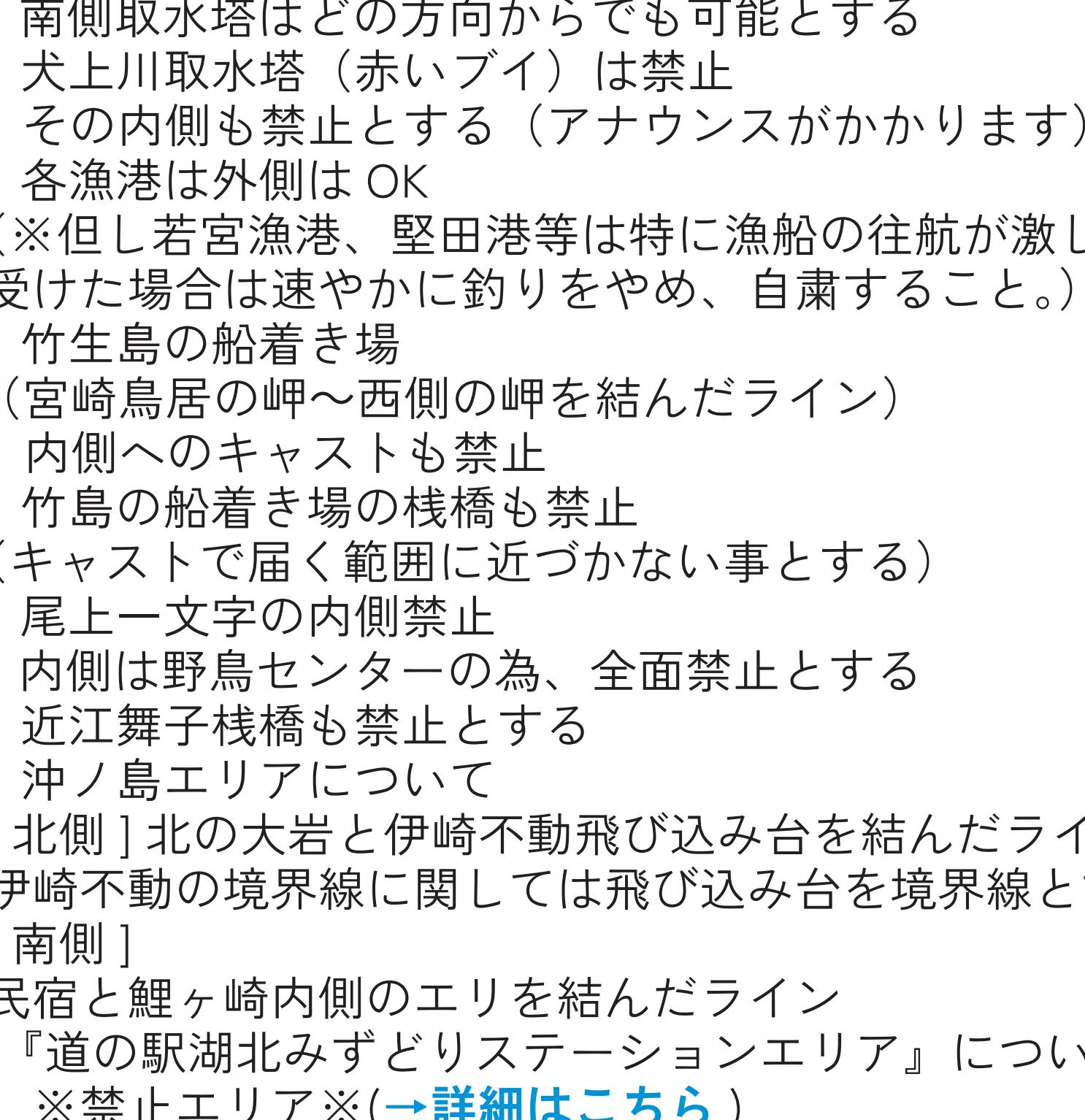
- 大津港内は侵入不可。（港内へのキャストも含む）

※競艇場南東角～大津港一文字端を結んだラインより内側は侵入しない。（ルアーの投げ入れも禁止。）

※大津港航路での釣りに関しては大津港を出入りする遊覧船等の航行の妨げにならないよう配慮する。

### ※噴水注意※

噴水により、ボートや人が水を被る危険がある為、独立した3つの一文字の内側は侵入しないこととしキャストもしない事とします。噴水のアナウンスが流れた場合、赤斜線外のエリアであっても風向きにより水を被る可能性がある為、付近で釣りをする場合は注意すること。



## ■禁止エリアについて

### 【M.B.F.T. & BLeague & WLeague 特別ルール】

- 『猿ヶ崎』『鯉ヶ崎』『沖ノ島西岸エリ』は試合当日及びプラクティス期間は釣り禁止とする。  
(※但し、普段の釣りではそれに限らない。)
- 各マリーナ、個人桟橋（キャストして届く範囲は禁止とする）
- 一文字の内側（内側にキャストはOK）

浮き漁礁は南湖、北湖関係なく全て禁止とする

牧エリア両サイドの取水塔は釣りOK

北側取水塔は南側にボートを付けるのは禁止

南側取水塔はどの方向からでも可能とする

犬上川取水塔（赤いブイ）は禁止

その内側も禁止とする（アナウンスがかかります）

各漁港は外側はOK

（※但し若宮漁港、堅田港等は特に漁船の往航が激しいので細心の注意をはらうこと。漁師の方から注意を受けた場合は速やかに釣りをやめ、自粛すること。）

竹生島の船着き場

（宮崎鳥居への西側の岬を結んだライン）

内側へのキャストも禁止

竹島の船着き場の桟橋も禁止

（キャストで届く範囲に近づかない事とする）

尾上一文字の内側禁止

内側は野鳥センターの為、全面禁止とする

近江舞子桟橋も禁止とする

沖ノ島エリについて

[北側] 北の大岩と伊崎不動飛び込み台を結んだライン

伊崎不動の境界線に関しては飛び込み台を境界線とする

[南側]

民宿と鯉ヶ崎内側のエリを結んだライン

『道の駅湖北みどりステーションエリ』について

※禁止エリア※(→詳細はこちる)

→尾上漁港ミオ筋

→沖一文字

→取水塔

※禁止エリア内外の定義

→沖一文字（※3つある内の真ん中の一文字）、ブイ、南側の取水塔を結んだライン上より内側は全面禁止。（※外から内へのルアー投げ入れも禁止とする。）

→北面：尾上漁港突堤（※詳細は図を確認する事。）

→南面：西側より取水塔を真正面に見て南2本柱より北側。

アユの保護水面区域について

下記リンク記載の県下8河川はアユの保護水面に指定されている為、保護水面内の川尻より沖合半径200mの線は釣り禁止及び侵入禁止とする。（※詳細はこちる）

※M.B.F.T., BLEAGUE, WLeague 出場選手はプライベート、プラクティス期間も含めこのルールを適用する。

流入河川について

『ボート進入可能であれば制限無し』とする。

※また、「伊庭内湖」「からすま内湖」等の琵琶湖に注ぐ内湖も基本的にエリア内とするがメインの大きい水門が開いている場合のみエリア内とする。

連絡用の水門を自力で開けて入って行くのは不可とする。

## ■自粛エリア

- 『琵琶湖大橋』『近江大橋』は航路になっている為南北100m 禁止とする。

・琵琶湖大橋～堅田のエリ（大橋マリーナ前）は禁止エリアとする。

・琵琶湖大橋～木浜エリ間は禁止エリアとする。

・堀切エリ内 軍艦島漁礁（エリとの距離が近い為。）

## ■エリに関して

北湖、南湖のエリに関しては共通で『100m 以内に侵入、ルアーの投げ入れ禁止。』とする。

※このような形状になっているエリに関しては一帯広くなっている所から100m 以内に侵入、ルアーの投げ入れ禁止。』とする。

（※特に北湖のエリに関してはエリを固定する為のブロックがあれば、そのブロックまで漁具と見なす。）

更にそこから100m 以内に侵入、ルアーの投げ入れ禁止。

また、仮に100m 以上離れていても誤解となるような場所での釣りは避けること。

## ■真珠棚について

下物内湖、山の下湾、赤ノ井の真珠棚エリは、棚の内側へのボート侵入を禁止とする。

※崩れている棚でボートの侵入可であっても同様。

## ■ボートについての参戦可

- 係留時のトラブルを回避する為、フェンダー2個、係留ロープを2つ用意する事

## ■タックル、釣法について

・タックルの本数や使用ルアーについての制限は無し。（※ロッドは10ft.までとする。）

・アラマリ、マリは1つずつのみ使用可能。

※但し、周囲はフレードのみとする。

・ドッキングは50m 以上禁止とする。

## ■アクションカメラについて

・オレステを乗せるアングラーであってもアクションカメラはトートメント競技中は録画モードにしておく事。

（※オレステ中での走行にて撮影が困難な場合は下に置いた車載用GPSにてでも競技時間内は撮影可能と思われます。）

・競技終了後はメモリーカードを本部に提出する事。64GBクラスでも競技時間内は撮影可能と思われます。

## ■競技エリ

・全湖

## ■LBFF 全カテゴリー共通ルール

LBFFではブラックバス保護の観点から、2026年度より『4月～6月』の間のスポーツティング期間において、琵琶湖でのトーナメントに出場される選手は、デジタルウエイブイン形式のレギュレーションを採用してない試合に参戦することは可。

## ■ペナルティ

・ペナルティについてはこちる

※参考しておこう事。

・競技中に選手が釣り禁止及び侵入禁止エリアを発見した場合、直ちに本部に電話連絡を入れる事。また、

異議申し立ては表彰式前行うものとする。